

おやまだ

第 32 号

平成 24 年 3 月 20 日



みんなで力を合わせて わが町を守ろう



特集 小山田の地震防災について

巻頭言

昨年の東日本大震災のテレビ映像は、自然災害の恐ろしさとともに、地震国日本の宿命のよくなものを感じた。

小山田地区にも近い将来、東南海地震等が予想されるが、一旦地震が発生すると被害は広域に及ぶので、当地区も発生初期は、自分たちの防災能力で自衛するしかありません。

そのためには日頃から自主防災隊を訓練すると共に、我が町は我々で守るといふ住民参加の共助・ボランティア精神の育成が必要である。

(文化広報部・山家多喜男)

主な内容

- P
- 2・3 特集 小山田の地震防災
- 4・5 おやまだトピックス
- 6 各専門部の活動
- 7 小山田広場
- 8 桜の愛称 他

自分の命は自分で守る

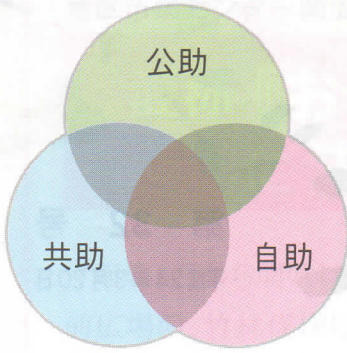
地区連合自治会長
地区防災連絡協議会長
萩 伸元

突然おそいかかった東日本大震災。自然の恐ろしさをまざまざと人の心に焼きつけました。

“自分の命は自分で守ろう”と地区防災連絡協議会が発足して七年目になりました。毎年各町で活発な防災訓練も、最初は消防団の見学でした。

その後、自治会長らのたゆまない尽力によって、年ごとに内容や質も向上してきました。隣近所にも気を配り、町民も進んで参加するようになり、日頃の人の絆を大切にしながら真剣に取り組んでいます。

今一番の心配は、東海・東南海・南海の三つの地震が連動して大きな災害が発生することです。市では吉川危機管理監や矢田室長ら多くの職員が大震災の教訓や再検証など日夜減災対策を練り安全な指示を出し、私たちを見守っています。また、『自助』



『公助』の観点から、地域でスムーズな活動ができるよう、「防災大学」を開校して、リーダーを育てています。地区では、すでに十人が資格をとって、第一線で活躍しています。

これからも、たえず防災意識の向上に努めますので、力強いご協力を心からお願いします。

『小山田の地震防災』について

文化広報部 山家 多喜男

昨年三月の東日本大震災は、何百年に一度の想定外の規模の震災であったが、反面何十年後に予想される東海・東南海・南海大地震が改めて現実のものとなってきた。

そこで、今回の広報『おやまだ』の特集として、地区の地震防災について報告する。

まず地震防災の基本としては、

- ① 知ること
 - ② 備えること
 - ③ 行動することの三点がある。
- 一、先ず知ること、

知りたいのは今後予測される地震の発生時期、発生場所、規模等である。日本の地震観測のレベルは世界のトップクラスで、テレビの地震速報のように数分前は驚くほど正確であるが、東

日本大震災に関しては、地震学者でも場所・規模ともに予想すらできなかった。

その反動か最近は南海トラフの地震帯(図1)も広がり、東京直下型地震、果ては富士山噴火まで学者・マスコミの予想オンパレードであるが、これらは外れても無害放免になるのだろうか。

次に地震による被害の程度は、①地震の規模 ②震源からの距離 ③表層地盤などの影響を受けるが、当地区は南海トラフの震源から二百km以上離れており、標高も五〇m以上あるので津波の心配はないが、震度は5強程度が予想されるので、地盤の弱い地域では震動が増幅して家屋倒壊等の被害が大きくなる可能性がある。

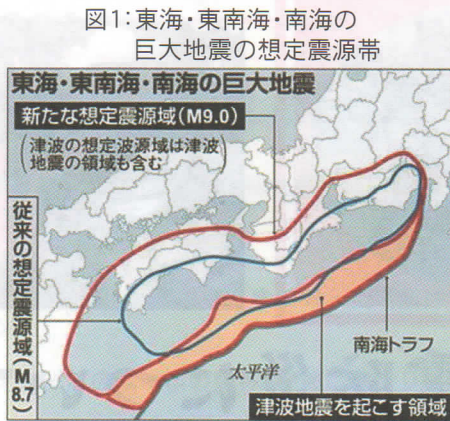


図1:東海・東南海・南海の巨大地震の想定震源帯

また、当地区周辺には養老・桑名・四日市断層帯と鈴鹿東縁断層帯とが分布しており(図2)これらの活断層で直下型の地震があれば、地盤が弱い大きな被害が予想される。

そこで、四日市市の防災資料を調べたら(図3)堂ヶ山町と六名町の一部

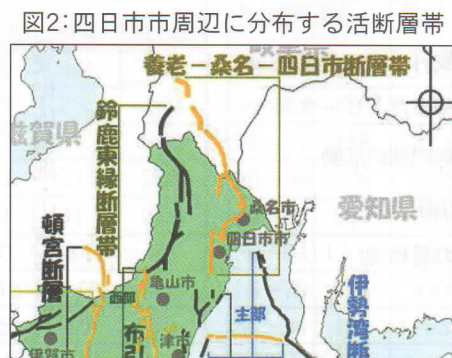


図2:四日市市周辺に分布する活断層帯

が内部川から運ばれた砂質の地盤で、強い地震や直下型地震では、液状化の危険性が極めて高いことが指摘されている。すでに同じ内部川流域の鹿間町や和無田町は、百年〜三百年前に地震や大水害の被害で、現在の高台に移転している。

二、備えること、

先ず「自助・共助・公助」を基本とし、自らの命は自分で守ることが必要である。そのためには家庭内で①我が家の耐震チェックをする ②家具の転倒・落下防止をする ③家族で避難路や連絡方法を話し合うことなどが必要である。

次に地区の防災体制であるが、6年前から自治会が主体となって地区防災連絡協議会が設立され、各町での防災訓練など活発に活動しているが、東日本大震災の教訓を踏まえて、地区内外

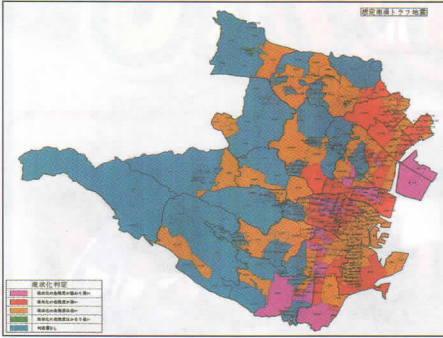
との連携のマニュアル化や、情報システムの活用など、ソフト面や運営面での見直しが必要と思われる。

三、いかに行動するか、

- ①まず各自が落ち着いて周囲を見回し、火元や落下・転倒物に注意し、安全な場所に身を隠し揺れが収まるのを待つ。
- ②揺れが収まったら家族の安否を確認し、家の周囲を見回り被害状況を確認する。
- ③近隣の安全を確認し、各町の防災本部に被害状況等を連絡する。
- ④各町の防災関係者は、各自の安全を確認したら、直ちに防災対策マニュアルに沿って、各町本部に向き担当職務を遂行することである。

最後に、私達この地区の住民は、我が町が大震災に見舞われたら、自分と家族の安全を確保した後は、助け合いのボランティア精神で、消火・救命・救護・その他の支援に協力することが『地域力』であり、小山田の地震防災にとつて一番大切なことである。

図3: 四日市市液状化危険度分布図 (414町丁目別)



鈴木英敬県知事と面談

地区の要望を懇願

地区連合自治会長 萩 伸元

昨年末、県下自治会連合会の研修が、津市の三重県総合文化会館でありました。講師に鈴木英敬県知事の「幸福実感日本一をめざして」の講演会に先立ち、萩伸元連合自治会長が知事と面談。切実な、次の三つを訴えました。

- ①近年、サルやイノシシが出没し、収穫間近かな野菜を荒らし、出荷できず、農家は悲鳴をあげていること。
- ②児童生徒の通学途上の交通安全対策と県道の整備。
- ③平成三十三年、国民体育大会の誘致には、ぜひ西南部方面へ体育施設の新設をお願いしました。



コミュニティバスの導入について

地区社会福祉協議会長 古市 義勝

小山田地区は、市域の約一割弱に当たる、約十八平方キロの広範囲な面積に9町が点在しながら集落が形成されており、地区内人口の六十五歳以上の高齢率は、三十%に迫っている状況にある。

一方、住民の移動手段を担う地域公共交通は、モーターリゼーションの発展により利用者が激減し、衰退の一途をたどり、今や本地域から近鉄四日市駅行きは、朝夕を除き3時間に1本の状況で、買い物は元より中心市街地への移動にも困難をきたしている。

また、今後ますます高齢化率の上昇と相まって、交通移動手段に乏しい高齢者や学生など交通弱者の買い物、通院や通学などの日常生活に不可欠な移動手段の確保は、喫緊の課題となっている。このことを放置すれば、いわゆる「買い物難民」と呼ばれる地区住民の増加が予想される。

そこで、地区住民が少なくとも日常生活に支障を生じないように、利用者や



福祉バス

問題点	解決方法	今後の取組み
通学	福祉バス～路線バスにつなぐ	だれが 実行委員会を立ち上げる
通勤	福祉バス～路線バスにつなぐ	いつ 実行委員会で計画を作る
通院	最寄りの病院まで	どこ 小山田地域内
買物	最寄りのショッピングセンターまで	なにを 福祉バス
お出かけ	福祉バス～路線バス・電車につなぐ	どのように
地域内の移動	福祉バス	決めた時間、決めた場所に福祉バスを運行する
飲酒運転の予防	福祉バス～路線バス・電車につなぐ	
会議等の参加	福祉バス	

地区住民、自治会組織などが互いに支え合って運行する、地域巡回バスの導入が必要である。

四日市市でも、総合計画の基本目標3として「誰もが自由に移動しやすい町づくり」が計画されているので、小山田地区の公共交通の維持・確保とともに、地域が協同で取組みコミュニティバスへの支援をお願いしたい。

青少年育成部

親子社会見学

in 馬籠宿



視察研修 愛知学園



保健体育部

運動会



写真の焼増しを希望される方は団体事務局まで
連絡してください。 TEL 059-328-3320

部

研修

イト常磐

おやまだ トピックス



文化祭



文化広報

人権・青少年育成 合同講座 人権コンサート



小山田鼓笛隊
演奏



西陵中学校 音楽部
マリンバ演奏



韓国伝統芸能
「農楽・サムルノリ」演奏



生活福祉部

ふれあい フェスティバル



視
サテ

各専門部の活動

文化広報部

書記 大谷 いずみ

文化広報部の主な活動は、地区文化祭の開催と地区広報誌「おやまだ」の発行とホームページの作成です。

十一月五日、六日に地区文化祭を開催しました。各種団体の方々を始め、大勢の皆様にご協力頂き、今年も盛大に催すことができました。

展示の部では、生花、菊花、盆栽、書道、写真、絵画、折り紙、編物、手芸、工芸、陶芸など素晴らしい作品揃いで、一つ一つに込められた優しさや力強さに感銘を受けました。

野外会場では、子供会の駅伝大会、鼓笛隊、よさこい踊り、三味線など会場を盛り上げて頂き、活気あふれる食べ物コーナー、花販売も好評で完売致しました。今後も、楽しいふれあいを通じ、絆を深められる地区文化祭にしていきたいと思えます。

今年度の地区広報誌「おやまだ」は「地区の防災」をテーマに発行致しました。自分の命をいかに守るかを考える際に、少しでも参考にして頂けたらと思います。



ホームページ「おやまだ」では主に小山田地区の活動や行事やニュースなどを発信しています。ご意見、ご感想を多数お待ちしております。

生活福祉部

部長 矢田 俊巳



① 文化祭協賛

十一月六日

うどん百二十食とみたらし千二百本を作り、部員の方々の協力で完売いたしました。

② ふれあいフェスティバル

十一月二十三日

十数年続く恒例行事で、今年はマンネリ化を避ける為に、地域の方々に毎年ご協力をお願いしていた「踊り」や「大正琴」等の代わりに「マジック」や「津軽三味線」「西陵中学校生のマリンバ演奏」を、また、出席者参加のビンゴゲーム、昼食会と楽しい一日を過ごしていただきました。

③ 出前講座と視察研修

十一月二十九日

「出前講座」は、小山田地区市民センター二階で、四日市市ろうあ福祉会副会長、本間豊子先生による体験談・支援方法・質疑応答を手話を交えて講義していただきました。

「視察研修」は、青山里会の常磐サテライトを見学させていただきました。

今後とも小山田地区の皆様方のご協力ご指導を、地区社会福祉協議会に、よろしくお願いいたします。

青少年育成部

部長 中村 實

- ・ 祭礼補導 二回
- ・ 夏の親子研修
- ・ 県外視察研修
- ・ 人権同和推進協議会との合同講座
- ・ 文化祭の協力参加

部員全員が力を合わせて取り組んでいます。

小山田は、安全地区ではありませんが、一歩外に出れば誘拐の手が伸び巻き込まれているのが現状です。

そこで青少年の実態や関わり方を知ってもらおうと視察研修を企画しております。

育成支援の立場から、親子が力を合わせて出来ることを親子研修として企画しています。

今後も小山田の青少年のため、部員一同ひとつになって活動していきます。ご理解とご指導をよろしく願います。



保健体育部

部長 須藤 成則

① ニュースポーツ大会

七月十日

② 小山田地区大運動会

十月十六日

③ 文化祭協賛

十一月六日

④ 小山田地区グランドゴルフ大会

十二月四日

小山田地区民が唯一、一同に会して親睦を図れる行事の運動会が、今年も約三〇〇名の大勢の参加者を得て、盛大に開催する事が出来ました。ご協力有難う御座いました。

保健体育部としては今後共、地区民の方の親睦、健康作りに少しでも寄与できる様、誰でも気軽に参加できる種目、環境作りに尽力して行きたいと考えていますので、ご協力お願いいたします。

おめでとうございます

- ◆永年勤続自治会長表彰
里中 俊雄氏 (小山町)
- ◆社会福祉協議会会長表彰
萩 伸元氏 (鹿間町)
- ◆四日市南警察署長感謝状
萩 伸元氏 (鹿間町)
- ◆青少年健全育成功績表彰
磯部 治子氏 (鹿間町)
- ◆四日市市長表彰
民生児童委員
竹内 まつ子氏 (山田町)
中澤 幸子氏 (山田町)
- ◆四日市市長表彰
老人福祉事業功労者表彰
岸本 多美男氏 (鹿間町)
- ◆四日市市老人クラブ連合会
会長表彰
矢田 昌一氏 (西山町)
- ◆四日市市老人クラブ連合会
会長感謝状
小澤 和治氏 (鹿間町)
- ◆三重県知事表彰
消防精勤章
矢田 富教氏 (山田町)
- ◆三重県消防協会会長表彰
表彰徽章
古市 隆志氏 (和無田町)
矢田 博之氏 (山田町)
中村 哲也氏 (山田町)
- ◆四日市市長感謝状
消防団退職者感謝状
今村 昭満氏 (山田町)

小山田広場



愛知学園への視察研修にて

宇藤 久美子

青少年育成部の視察研修で愛知学園へ、行ってきました。愛知学園は児童福祉法に規定する児童自立支援施設です。不良行為をなし又は、なすおそれのある児童や家族環境などの理由により生活指導等を要する十八歳未満の児童を入所させ児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し又退所者の相談その他の援助を行っています。施設では約一年の間に生活指導と学科指導をし、剣道や陶芸を通して精神面を養っていきます。

今回五十八施設ある内、愛知学園を含む約三十施設ではまだ、学校教育が導入されていない事を知りました。この問題は児童の自立や自信に繋がると



思います。今現在、準備をしているのですが早急な公教育の導入を整えて欲しいと思えました。退所後の児童が自立し更生して生活していくのには各方面の協力や理解が必要と感じました。

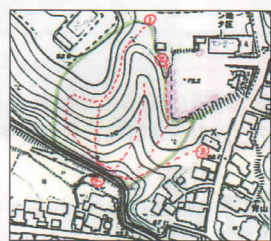
里山公園づくりの活動報告

推進委員会会長 矢田 義秀

昨年春頃より「町づくりを楽しむ会」で取り組んできた、地区市民センター前広場の竹林整備について、地権者の協力を得て県・バンブーバスター予算の認可を受け、今年1月中旬より竹伐採作業が開始されました。

2月末には作業は終了し、その後伐採跡地の竹林広場を、地区のボランティアの支援により、伐採された竹材を再活用して遊歩道の垣根やベンチを作り、案内標識など設置して整備を進めています。

4月初旬の桜の開花に合わせて、里山公園のオープンングセレモニーを開催し、竹林から採集されたタケノコでご飯を炊き、手作り料理を味わいたいと思います。



里山公園マップ

同時に里山公園を起点に、町内の八幡山や桜の名所を巡るウォーキング大会を催し、途中で青山里会の協力により足湯に立寄ることも企画しています。

将来は地権者の協力を得て、四日市の市民緑地制度に申請し、更なる整備を進めていきたいと思っています。

整備中の竹林



交通安全協会

小山田支部長 川島 欣弘

私たち毎月の街頭指導の時、交差点で停車した運転席を見るとシートベルトの着用率が、十人中八人位です。自分の身を守るものです。必ず着用して下さい。

また、走行中、携帯電話の使用をよく見ます。必ず停車して使用して下さい。また地区行事も大変多く、学校、地区の運動会、地区神社祭礼、青山里会温泉祭、納涼祭、子ども育成会の駅伝など協力しています。

運転免許更新時特定任意講習会を六ヶ月に一回、また昨年は、高齢者の交通事故が多く、「高齢者交通安全教室」をしました。

最近、自転車事故が多く発生しています。自転車は軽車両です。交通ルールを守って乗って下さい。

地区市民センター前広場の桜

愛称『おやまだ桜』 に決定

今年の1月から開始していた地区市民センター前広場の、竹林伐採による『里山公園』の整備に合わせて、桜の木に『愛称』を募集していましたが、多数の応募をいただき、2月末に締め切りしました。

里山公園づくり推進委員会で審査の結果、上記の愛称『おやまだ桜』に決定しました。

応募者多数のため厳正に抽選し、入賞者は4月上旬に開催予定の『里山公園オープン式典』で表彰し、記念品を贈呈します。

(文責・山家)



小山田郷土史愛好会より

鎌井松石の CTY放映

幕末から明治時代にかけて、西山町で医業を営みながら、本草学や博物学などで活躍された『郷土の偉人・鎌井松石の人と業績』についてマスコミで取り上げられ下記のように放映されたので、ご紹介いたします。



(文責・山家)

西陵中1年 市川唯人君 (鹿間町)

美し国三重駅伝 で 大健闘!!



2月19日開催の「第5回美し国三重駅伝」で、四日市市チーム・4区中学生男子の部に出走し、1年生ながら区間4位(18分32秒)の成績で、四日市市の総合優勝に貢献した。

おやまだクイズ チャレンジ!!

- ① 地震防災について、あなたは、何が大切と意思しましたか？
(どんな答えでも良いです。)
- ② おやまだトピックス
青少年育成部の活動で、親子社会見学で行った場所は
何処でしょう？
- ③ 地区市民センター前広場の桜の愛称は、何に決まりましたか？

応募方法

自分で作った用紙に、住所・氏名・答えを記入し
市民センター入口の応募箱に入れて下さい。

☆締め切り 4月27日(金)

☆正解者の中から抽選で10名に図書カード(500円分)が当たります。

☆当選者は賞品の発送をもってお知らせします。

あ と が き

地域の行事も無事終了させて頂き皆様のご理解ご協力ありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

今後、地域の社会づくりの輪を広げ、より強くしていけるようにしていきたいと思ひます。

辰年にちなんで、上昇になるようにがんばりたいと思ひます。

(文化広報部長・北尾喜子)

地区の人口

(平成24年1月1日現在)

通称町名 (小山田)	世帯数	人 口		
		総数(人)	男(人)	女(人)
内 山 町	58	170	82	88
小 山 町	172	512	259	253
鹿 間 町	281	772	373	399
堂ヶ山町	139	444	215	229
西 山 町	233	651	313	338
美 里 町	57	170	84	86
山 田 町	748	1,645	742	903
六 名 町	60	158	85	73
和無田町	126	374	183	191
合 計	1,874	4,896	2,336	2,560

年齢範囲	総数(人)	男(人)	女(人)
0~9	339	165	174
10~19	419	196	223
20~29	488	233	255
30~39	528	289	239
40~49	564	285	279
50~64	1,118	560	558
65~79	917	450	467
80~94	489	153	336
95以上	34	5	29
計	4,896	2,336	2,560

高齢化率(65歳以上)29.4%